

おいしさ、けんこう、
つぎつぎ、わくわく。))



2027年3月期 第2四半期(中間期) 中間決算説明会資料 (2026年4月1日～2026年9月30日)

2026年10月30日

フジッコ株式会社

(証券コード2908)

<https://www.fujicco.co.jp>

- I. 2027年3月期中間決算の概要
- II. 26/3-28/3中期経営計画の進捗
- III. 2027年3月期中間決算 – セグメント詳細 –
- IV. 資本戦略

(本資料における数値の取扱い)

整数は表示単位未満を切り捨て、小数は表示単位未満を四捨五入しています。

I. 2027年3月期中間決算の概要

決算サマリー

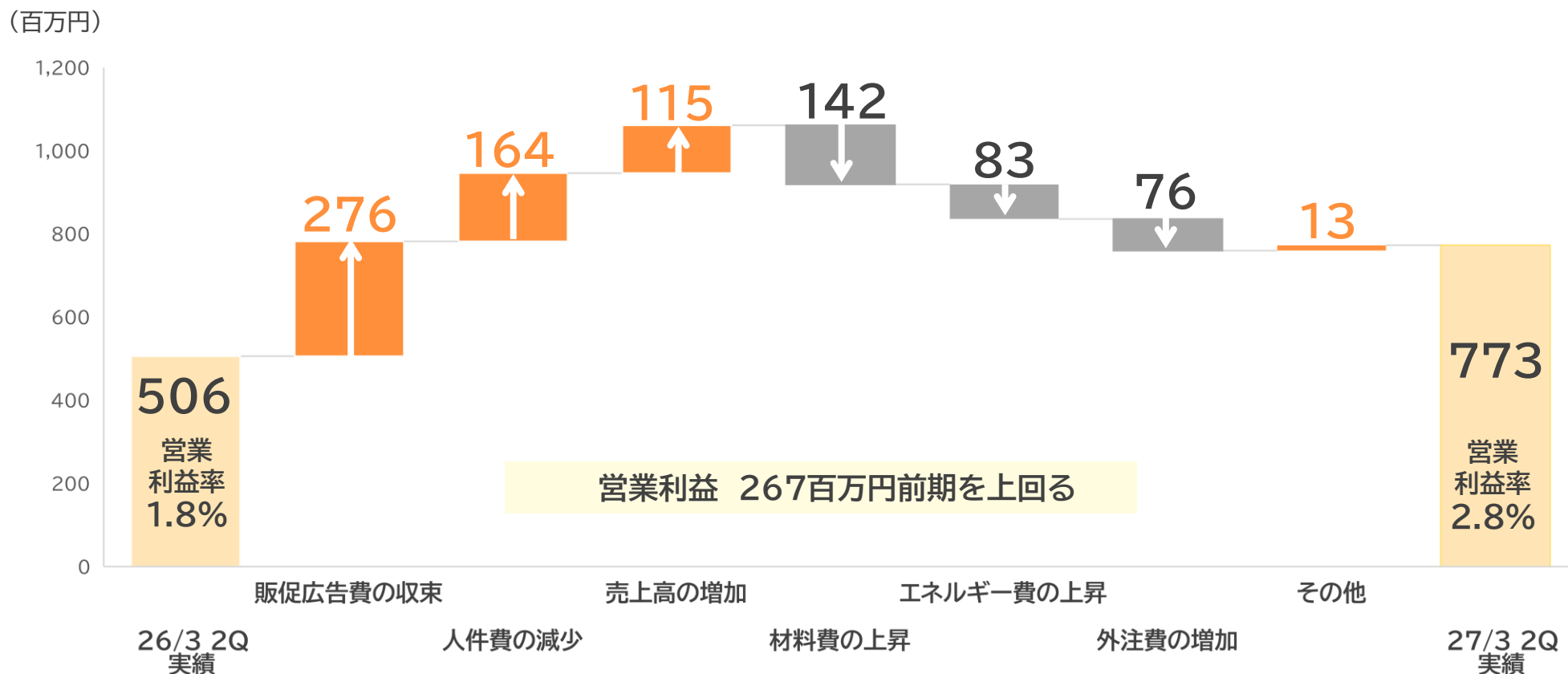
- ・ 売上はほぼ計画通り。利益は計画を大きく超過。
- ・ 当社は正月需要で収益が下期に偏重する。2Q迄の利益は計画を上回り、足元でもヨーグルト等が堅調だが、消費者動向、原材料価格の先行きなどを慎重に見積もり、通期予想は据え置く。

(百万円)	26/3 2Q	27/3 2Q(4-9月)				26/3 通期	27/3 通期
		計画 (7/31修正)	計画 (10/26修正)	実績	7/31修正 計画比	実績	計画
売上高	27,745	28,000	28,000	27,860	▲139/±0%	55,534	57,000
営業利益	506	600	770	773	+173/+29%	1,466	1,500
営業利益率	1.8%	2.1%	2.8%	2.8%	+0.7	2.6%	2.6%
税引前利益	736	—	—	953	—	1,702	—
▲法人税	(※) +26	—	—	▲330	—	▲273	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	763	500	650	653	+153/+31%	1,428	1,240
EPS	26.82円	17.56円	22.83円	22.94円	5.38円	50.18円	43.55円

(※) 連結子会社の株式譲渡による関係会社株式評価損の損金算入に伴い、法人税等の減少があったことによるものです。

決算のポイント | 営業利益の増減<前期比>

- 広告宣伝費の投資対効果を精査。売上を伸ばしながら、効率的なマーケティング投資を推進。
- 惣菜子会社の吸収合併をはじめとする事業再編・組織統合により、人員配置を最適化し、経営効率を改善。
- 本年4月の価格改定で、原材料費・エネルギー等のコスト上昇影響を一部吸収。



Ⅱ. 26/3-28/3中期経営計画の進捗

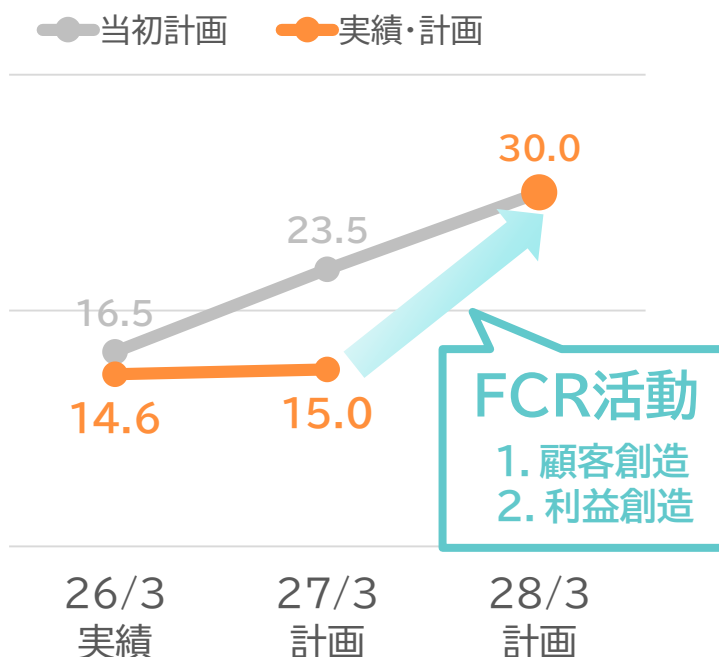
中期経営計画 | 進捗・見通し

- 28/3期に前期比15億円の増益を計画。ヨーグルトと昆布で収益を拡大、豆も利益率を改善させる。コスト面では、閉鎖を決定した2工場の統合効果が発現し原価を低減する。

※ 26/3期は税効果による一時的な利益押し上げ要因を含んでいますが、この影響を除いたベースでは、ROE・EPSともに3期間連続で向上の見通しとなります。

(百万円)	25/3	26/3	27/3	28/3
	実績	実績	計画	計画
売上高	57,077	55,534	57,000	60,000
営業利益	1,131	1,466	1,500	3,000
営業利益率(%)	2.0%	2.6%	2.6%	5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	951	1,428 ※	1,240	1,800
ROE	1.4%	2.1% ※	1.8%	3.0%
EPS	33.44円	50.18円 ※	43.55円	63.21円

▼営業利益達成イメージ (単位:億円)



中期経営計画 | 現在の事業ポートフォリオ

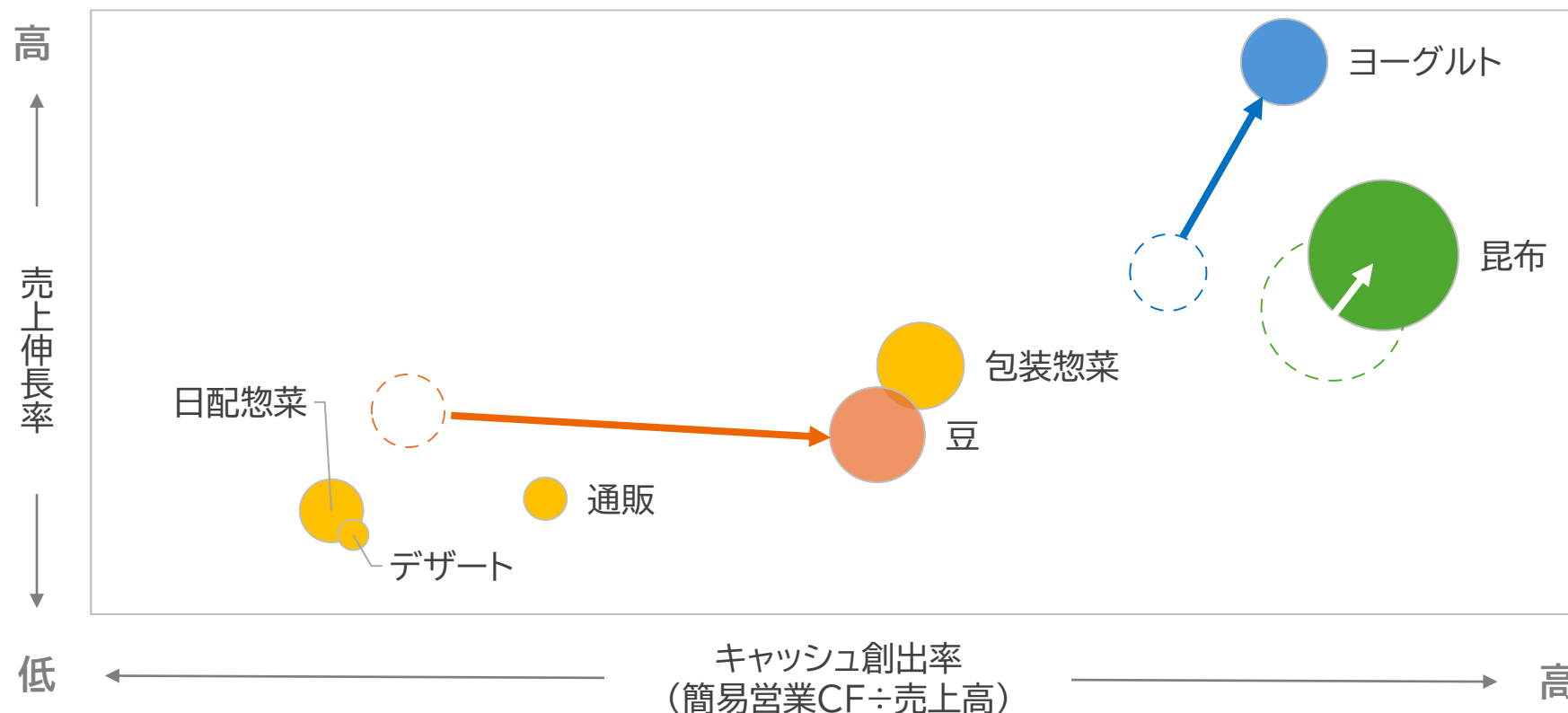
- ・ ヨーグルトは、売上成長と収益性の双方が改善し、当社の成長を牽引中。
- ・ 昆布は、高い市場競争力で成長性とキャッシュ創出力の両面で高水準維持。
- ・ 豆と包装惣菜は、価格改定や、差別化された小分け包装商品の販売構成比が高まり、収益性の改善が進展。

【計測期間】

前年(点線):2024年10月~2025年9月

本年(実線):2025年10月~2026年9月

*円のサイズ:簡易営業CF=NOPAT+減価償却費(有形・無形)



Ⅲ. 2027年3月期中間決算

－ セグメント詳細 －

セグメント別売上サマリー

- 2Qにおいて、昆布は伸長傾向。ヨーグルトは「リッチモ」をはじめカスピ海ヨーグルトシリーズ全体が好調に推移し、収益力改善にも貢献。
- 販売面においては、豆の販売数量拡大による工場稼働率向上を通じて、更なる収益力の向上が課題。

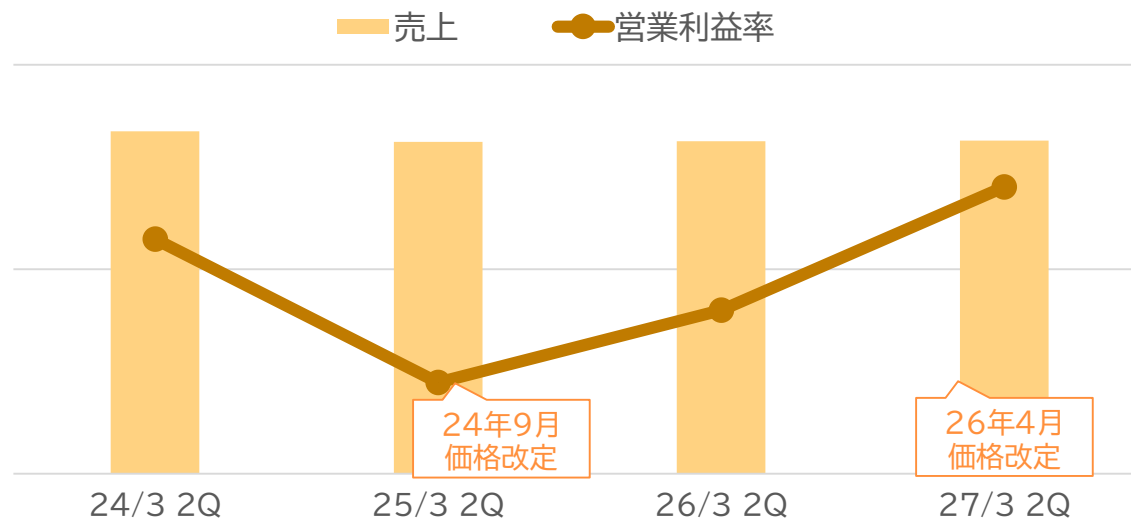
(百万円)	2Q		
	25/3 実績	26/3 実績	27/3 実績
惣菜	9,447	9,357	9,157
昆布	7,803	7,866	8,229
豆	4,590	4,494	4,236
ヨーグルト	3,427	3,474	4,032
デザート	1,781	1,366	1,241
その他	1,004	1,185	963
合計	28,055	27,745	27,860

通期		
25/3 実績	26/3 実績	27/3 計画
19,064	17,655	19,521
15,917	16,348	15,929
10,483	10,146	9,952
6,759	7,081	7,597
2,715	2,166	2,116
2,138	2,135	1,882
57,077	55,534	57,000

セグメント別 決算のポイント | <惣菜>

- ・ 日配惣菜が取引先方針を受けて低調だったものの、包装惣菜では、中核商品の小鉢シリーズが価格改定後も売上が堅調に推移。個食需要拡大と、高品質を維持する技術がお客様から評価され、販売を下支え。
- ・ 価格改定効果により、収益性が改善。

▼包装惣菜(2Q累計)



売場コーナー化で
定番採用率を高める



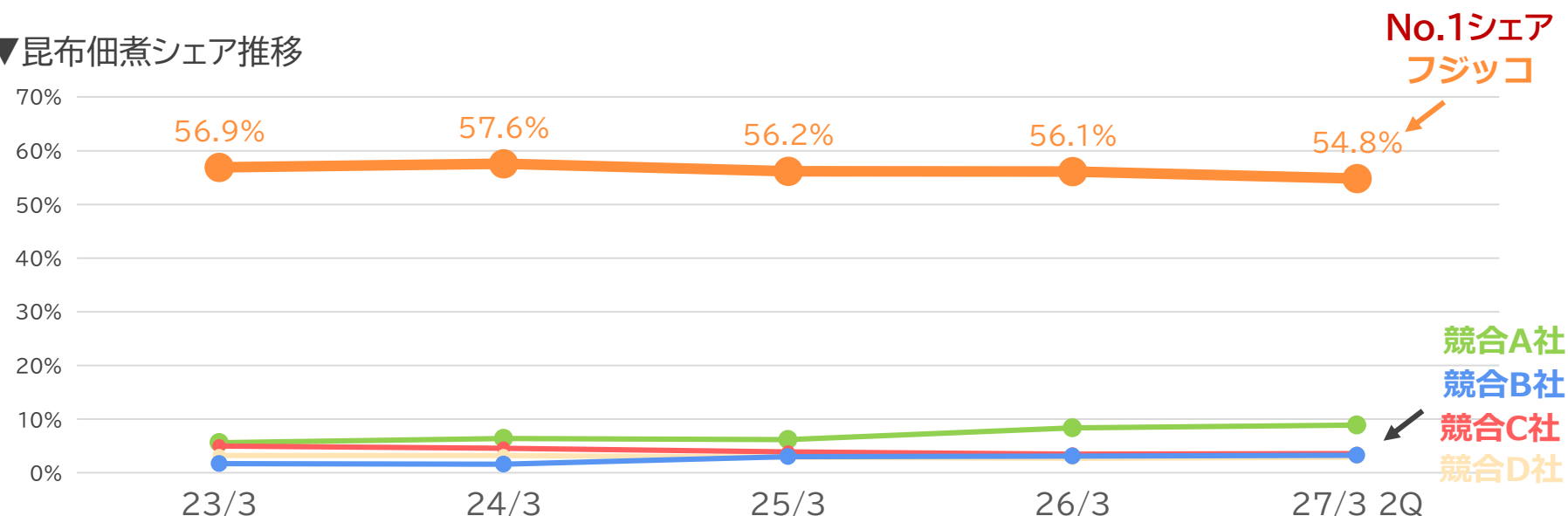
<取り組み方針>

- ・ 店頭活動および売場コーナー化提案を強化し、定番採用率の向上による販売拡大を推進する。
- ・ 商品ラインアップの拡充により工場稼働率を高め、生産効率向上と固定費率の低減を図る。

セグメント別 決算のポイント | < 昆布 >

- ・ 昆布は全般的に好調に推移。売上の3割を占める塩こんぶが大きく伸長しシェアも拡大。売上の5割を占める昆布佃煮も堅調。
- ・ 高い加工・製造技術及び原料調達力を背景に安定供給を継続し、市場での競争優位性を高めながら圧倒的シェアを堅持している。

▼ 昆布佃煮シェア推移



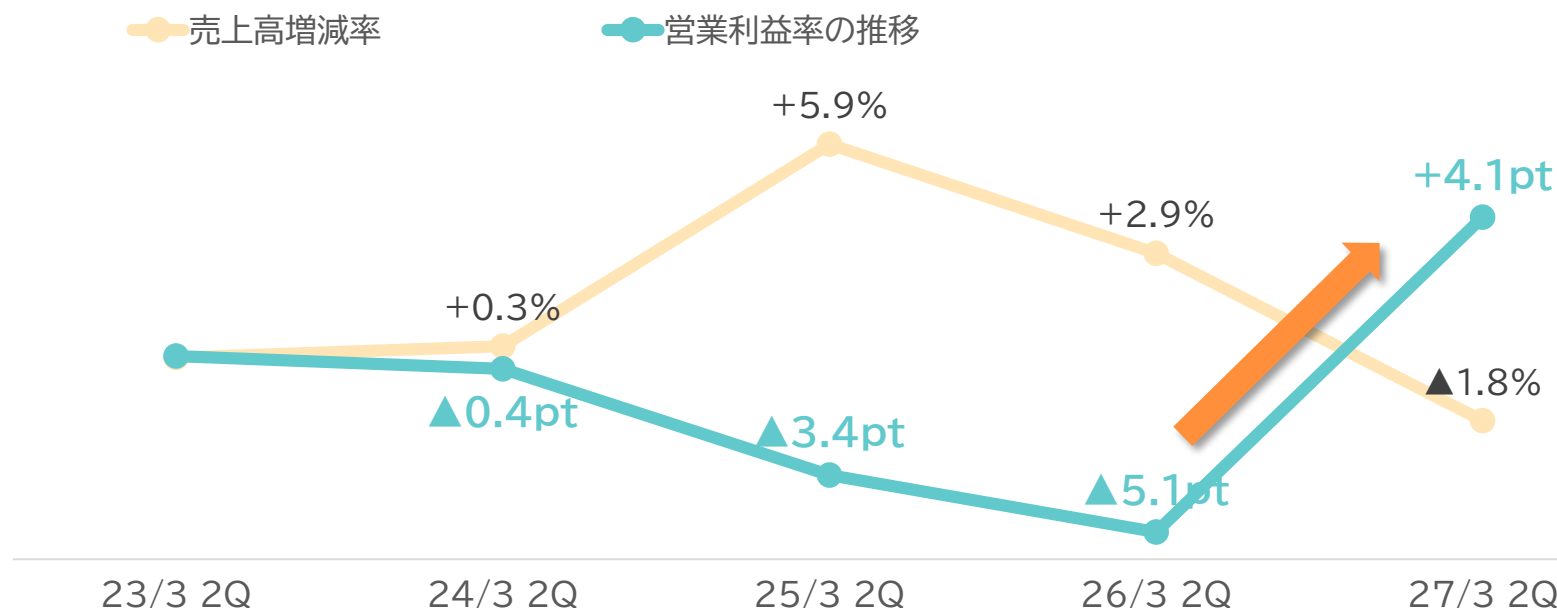
< 取り組み方針 >

- ・ 原料調達の多様化と生昆布活用の拡大により、供給安定性と収益性の向上を推進する。
- ・ EC・海外市場など成長領域での販売強化を通じて、新たな需要を獲得し売上拡大を図る。

セグメント別 決算のポイント | <豆>

- ・ 豆は収益性重視の方針のもと進めた結果、売上高は前年を下回った。
- ・ 収益改善施策により、営業利益率は改善。

▼23/3期2Q対比の売上高増減率と営業利益率の推移(2Q累計)



<取り組み方針>

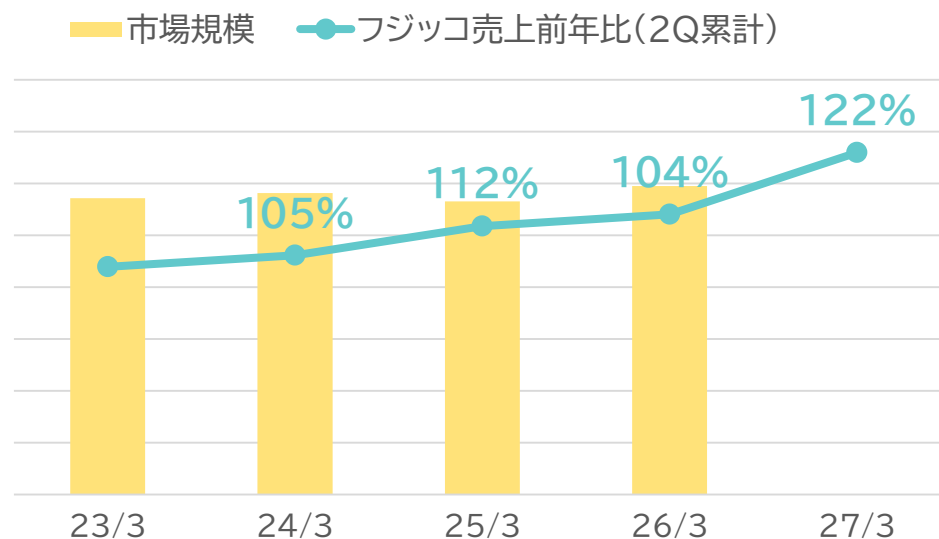
- ・ 主力ブランド「おまめさん」のブランド再構築により販売数量の回復を図り、工場稼働率向上につなげる。
- ・ 技術開発力を活かした新カテゴリー創出により、新たな需要獲得に取り組む。

セグメント別 決算のポイント | <ヨーグルト>

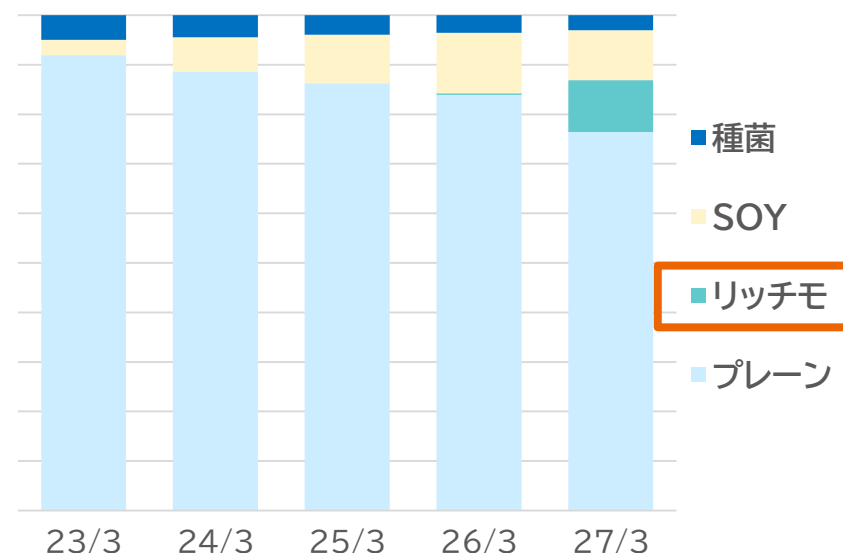
- 独自の食感や品質が支持される「カスピ海ヨーグルト」シリーズの高い商品力を背景に、市場成長を上回る販売拡大を実現。
- 「リッチモ」が計画を上回って推移し、高付加価値商品の構成比が上昇。



▼市場規模とヨーグルト売上前年比



▼販売構成の変化(2Q累計)



<取り組み方針>

- 生産能力増強に向けた体制整備を進め、持続的な需要拡大に対応。
- 「カスピ海ヨーグルト」ブランドおよび高付加価値商品の育成を通じ、国内外での販売拡大を図る。

通期業績達成に向けた施策

- ・ 3ブランド合同キャンペーン「フジッコ大感謝祭」。(過去最大規模)
- ・ 2026年9月実施の価格改定のタイミングに合わせて実施。

【プロモーション概要】

①TVCM放映

放映期間 : 2026年10月10日～2026年11月20日
放映エリア: 全国主要都市

②プレゼントキャンペーン

応募期間 : 2026年10月1日～2027年2月26日

※賞品一例

(体験ギフト)



(記念純金カード)



(商品詰め合わせ)



IV. 資本戦略

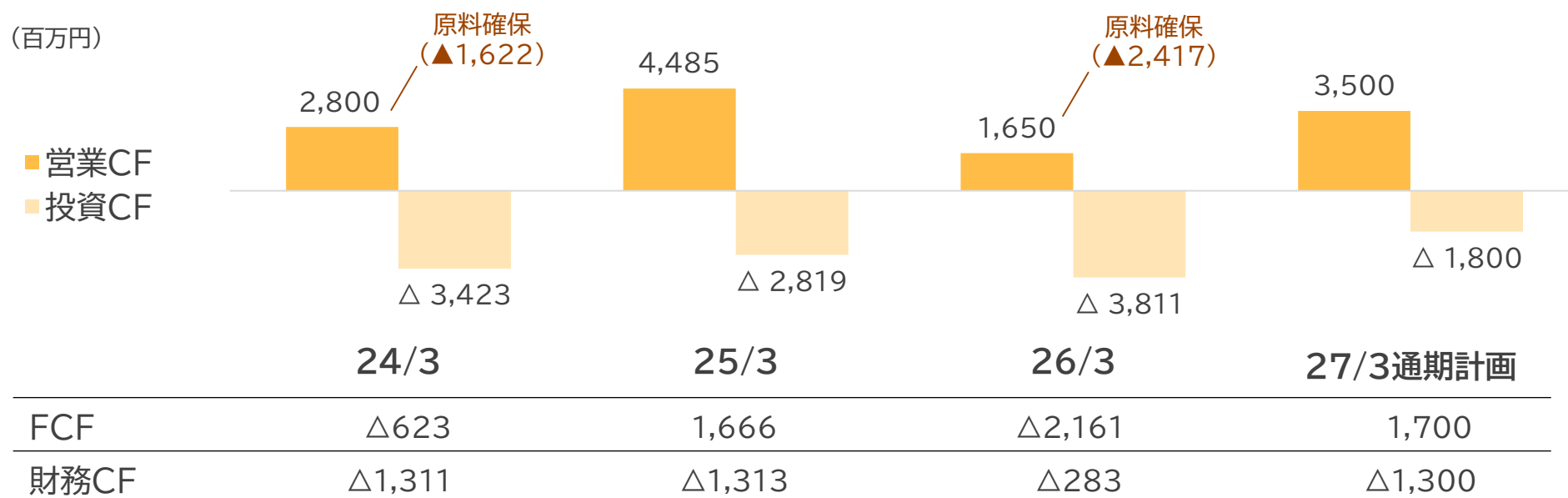
バランスシートコントロール

- ROICの引き上げを企業価値創造の重要論点と認識。
- 営業利益の向上と合わせ、投下資本の見直しを進めている。

(百万円)	25/3 期末	26/3 期末	27/3 中間	取り組みのポイント
(資産)	79,429	80,089	80,643	
現預金	11,692	10,249	10,571	適正水準を検証中
売掛金	9,598	10,173	10,187	
棚卸資産 他	13,250	15,903	16,989	競争優位のための原藻・原穀確保
流動資産	34,542	36,326	37,747	
有形固定資産	36,377	35,223	34,202	2工場の閉鎖を決定済み
無形固定資産	713	880	842	
投資その他の資産	7,796	7,659	7,850	政策保有株式の売却候補選定中
固定資産	44,887	43,762	42,895	
(負債)	10,833	10,402	11,054	
買掛金・未払金	7,304	7,652	7,645	CCC最適化に向けて取組中
その他	1,495	1,096	1,911	
流動負債	8,799	8,748	9,557	
固定負債	2,033	1,653	1,497	
(純資産)	68,596	69,686	69,589	最適資本構成を研究中
自己資本	68,596	69,621	69,542	
ROIC(簡易)	1.2%	1.5%	(通期概算) 1.6%	WACC超えの具体案を作成中

キャッシュ・フロー

- 本業の収益力向上に伴いキャッシュ創出力は着実に改善。
- 創出したキャッシュを昆布原料の確保、生産性改善や成長投資に振り向け、中長期的な競争力強化を進める。28/3期はヨーグルトの生産能力増強を計画。



(百万円)	24/3	25/3	26/3	27/3 通期計画
設備投資額	2,713	2,849	2,936	2,700

株主還元

- 株主還元が資本効率を高める重要な方策であることを認識。
- 本業が堅調であることから、配当での還元重点を置き、1株46円の配当を堅持する方針。

資本配分 の方針

- 企業価値を高めるものに配分する
- 中長期的観点から投資効果の検証を行う
- 投資においては**ROICとWACCを強く意識**する

目指す姿

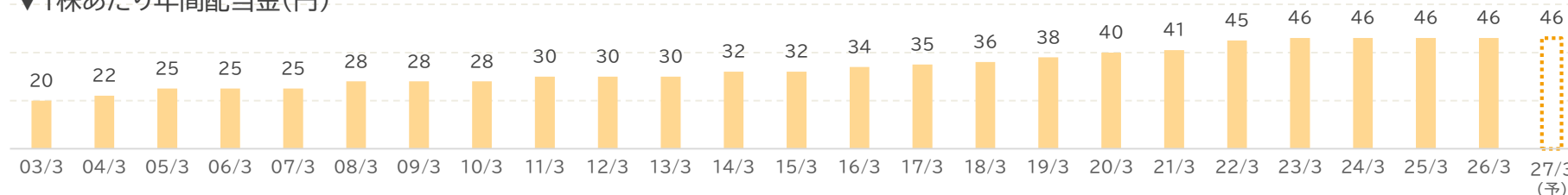
ROIC > WACC

ROE > 株主資本コスト

資本調達 の方針

- 資本調達コスト(**WACC**)を**意識**した最適資本構成を検証する
- 自社株買いも手段として検討**する

▼1株あたり年間配当金(円)



この資料には、当社の現在の業績見通しなどが含まれております。それら将来の予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの予想などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

～ お問い合わせ先 ～

経営企画部

TEL 078-303-5921